

# アクティチャレンジ新聞



発行元：アクティチャレンジ

編集：中村 悟志  
青木 伸郎  
小田 望月  
沢田聖恵子

お問い合わせ  
info@acty-challenge.com

ISO 9001 認証取得事業所



## 経営のトレンドは「戦略論」から「組織論」へ

一橋大学大学院商学研究所 教授 守島 基博

良い企業とは、優れた戦略を持ち、かつそれを実行する体制、つまり「組織力」だと思います。社長、一部の幹部が頑張っても限界がある。やはり組織の相互的な力だと思えます。

今回、私が読み参考になった「経営のトレンドは戦略論から組織論へ」をお書きになった「一橋大学大学院商学研究所 守島基博教授」の本の内容の一部を紹介したいと思います。是非一読下さい。

―原文より抜粋引用―

『20年間、組織論をながしにしてきた日本企業。競争力のある企業の特徴とは何なのだろうか。私は大きく2つの特徴があると思っている。』

ひとつは優れた戦略を構築できる企業である。戦略とは私の言葉で言えば、企業が他の企業と競争するための見取り図のようなものであり、これがないと経営が行き当たりばったりになる。その結果、資源だけが無駄に浪費され、最後に何が達成され、何ができなかったかも明確にならない。

ただ、どんなに優れた戦略が準備されても、それをきちんと実行する体制が伴わなければ絵に描いた餅である。単なるプランだけとなり、結局は失敗した戦略と烙印が押され、市場が予測せぬ方向に変化した、競争相手が勝つ

ていた、従業員に危機意識が足りなかったなど、一見合理的な説明がなされる。

言い換えると、競争力のある企業とは、優れた戦略を持ちかつそれを実行する体制、つまり同時に組織をもつ企業だと考えるのである。少し単純化過ぎるかもしれないが、大まかに言えば経営とは、戦略論と組織論に尽きるのだ。

そして、こうした視点から考えると私の眼には過去20年程日本の企業の多くは、優れた戦略を考える訓練は一所懸命やってきたが、それを実行する組織については、きちんと考えることを怠ってきたように映るのである。その意味で、過去20年程は戦略論の時代だった。

試しに考えて欲しい。これをお読みの皆さんの企業では、例えば5年前に比べて、組織が弱体化している状況が見られないだろうか。組織の弱体化とは、もう少し具体的に言えば、働く組織内の結束力が弱っている、働く人のモチベーションが低下している、職場に活気がなくなっている、職場でのコミュニケーションが減った、OJTが機能しないようになった、メンタルで潰れる人が増えたなどの現象に顕れる症状である。

こうした症状は働く人にとってもい

わゆる不機嫌な職場で働くという意味で好ましくないが、企業としても戦略実行の低下につながるため重要な問題である。

今は組織力の強化へ注力すべき時期である。もちろん、戦略構築を忘れてよいという意味ではない。ただ組織基盤がないと、どんなに良い戦略があっても実現は出来ないし、又いずれは良い戦略も出なくなるのだ。ここしばらくは、ろくにろくにしてきた組織へ眼を向け、特に基盤的なプロセスを維持する必要があるように思う。また、そこには構築すべき幾つかの新たな基盤プロセスもあるのである。これからは組織論の時代の始まりでなければいけない。』

―以上参考になれば―  
(守島基博教授の本より載せさせていただきます。)



代表取締役社長  
中村 雄三

ACTY WEB SITE <http://www.acty-challenge.com/>

物流の明日へ。  
Tomorrow of distribution

株式会社アクティチャレンジ

■本社 〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田6丁目6番21号  
TEL.028-680-6411 (24時間年中無休)

■配送センター 〒321-0112 栃木県宇都宮市壺坂町656番3  
TEL.028-666-0501

■整備工場 〒321-0112 栃木県宇都宮市壺坂町700番4  
TEL.028-656-4342

■業務内容 商品・回収品の輸送・配送速搬、ルート便、貸切便、チャーター便、トラックレンタカー他  
■サポートエリア 関東(栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都、千葉県)または関東近県をはじめ、日本全国へ展開中

# 第一回経営目標プロジェクト

9月1日、当社会議室にて第一回経営目標プロジェクトの講義を受けました。

参加者は、中村社長、中村専務、木戸部長、青柳部長、金子部長、松橋部長、福井部長、青木部長、飯野部長、私、中村大輔で参加しました。講師は、株式会社TBCソリューションズ岡本講師です。



今まで社内で日常業務に追われていると、ゆっくり考える時間がなく、固定観念が新しい発想の妨げになっているような気がしました。組織の垣根を越えた業務協力など、新しい発見があったように思います。

## POINT 1



ひとつの目標を全員で取り組むことの重要さを改めて認識しました。また、目標達成のプロセスをこと細かく詰めていくことで目標達成の道筋が見えてきました。

## POINT 2



次回、9月8日の二回目が楽しみです。

これをきっかけに、今期のゴールに一歩でも近づければと思います。

社長室室長 中村 大輔

## 自動車の歴史(その二)

1649年。ドイツの時計職人が、小さな荷車をゼンマイ仕掛けで動かすことを考え、このゼンマイ仕掛けの車の実現化が1700年代に成功した。だが短い距離しか走ることが出来ないことや、「ゼンマイ」なので、度々ゼンマイを巻かなければならなかった。だんだんと自動車に近くなってきたと思うが、まだ完全な自動車の定義「自力」に当てはまる乗り物には辿りつかない。

1678年。黒色火薬を燃料とするエンジンを試作されたが、完成までにはいたらなかった。

1680年頃には、水蒸気を後方に噴出させることによって前進するという興味深いオモチャもあったようです。これは「自力」ではあるが、あくまでもオモチャであるので「自動車」とはまた別の話になるだろう。このようにして、人々は「自動車」と乗り物を古くから求めてきたのであった。しかし「自動車の起源」に当てはまる乗り物はまだ登場していない。

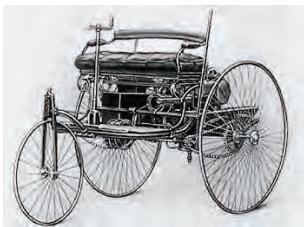
### 【豆知識】

世界でどのくらいの自動車が走っているか知っていますか？

答えは7億台

(地球上の人口をおよそ60億人とすると、約8人に1人が自動車を持っていると考えられます。)

整備部業務部長 松橋 寿夫



ある日の出来事

今年の夏も暑くて、いつもの様に汗かきかき出勤したとある日、会社の裏の駐車場で、目の前に現れたのは何と！

「かろかも親子！」

どこからともなく「ト」現れ、その後どこかへ消えて行きました。とても癒された出勤前のひとときでした。

貸切事業部 図書配送

佐藤 英里



# ビジネスチャレンジ研修

8月23日と24日に渡り、幕張セミナーハウスにて日本商工会議所青年部主催のビジネスプランコンテスト(以下BPC)のビジネスチャレンジ研修に参加してきました。設営を担当されている方から誘われたのがきっかけで初めて参加しましたが、BPC自体は今回で12回目の開催になるそうです。その準備段階といえる研修が今回のビジネスチャレンジ研修で、この研修は初開催だそうです。

初日は10時からで、まず船井総合研究所の方の講演から始まり、歴代のBPC入賞者の「受賞ビフォーアフター」ということで3名の方の講演がありました。その後、株式会社イワサキ経営様による業種別成功事例についての講演があり、エディフィストラーニングの清澤正氏より「対話でイノベーション」についての説明があり、グループで自分のアイデアやプランについてとんデイスカッションをしました。翌日は前日に引き続きエディフィストラーニングの清澤正氏による公開コンサルティングで、考えてきたビジネスプランを全員の前でプレゼンをし、先生や参加者が提案をしたり、アドバイスをしたりするという内容でした。

2日間に渡る研修はこれで終了です。この研修で印象的だったのは「対話でイノベーション」で、6〜7人グループそれぞれ持ってきたり、当日ヒントを得て考えたビジネスプランについてとん話し合うという



専務取締役 中村 悟志

ものです。同じグループの方が持ってきたビジネスプランが革新的で、もし実現すれば第一次産業から第三次産業まで全ての産業で今までのやり方が違ってくるのではないかと思います。常にアンテナを張って情報収集し、何かに応用しようという発想や閃きが必要で、その為にも色々なものや新しいものに触れていかねばならないと感じました。また、それらから得たものを何かしらの行動に移していかなければならないことも学べました。

今後もこのような機会があれば参加して学び、行動で成果を出していきたいと思えました。



集合写真



幕張セミナーハウス

## うそのような ホントの話 其の九

旧約聖書の「ダニエル書」に登場するダニエル少年は、不思議な霊力を持っており、王が見た不思議な悪夢の謎解きをする。詳細は省略するが、人間の未来について予言したダニエルの言葉を解釈すると、イスラエル建国から69年後にあたる2017年5月に「終末の日」が訪れると読めるらしい。ちなみに、フランスの科学ジャーナリスト、モーリス・シャトランは2020年3月21日にマヤとインドの暦がともに終わっていることと、土星と金星の会合周期がこの日に重なることから「終末」を予想。もっとも2012年といわれた、マヤ暦の世界滅亡説だが、最近では2015年が正しいとする説も。

これから人類滅亡ラッシュで忙しいが、過去にケネディ暗殺などを予言し、「世界三大予言者」といわれる女性占い師のジーン・ディクソンも2015年説を唱えているので、まずは2015年に注目してみる!?

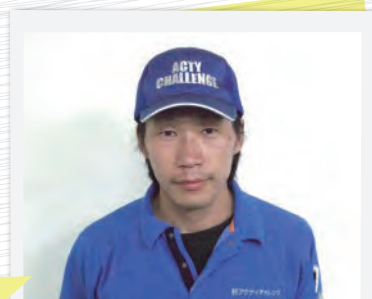
# スタッフ紹介 ☆★今月は、倉庫で活躍中のフレッシュな二人を紹介します! ☆★



**石川 明良** (集配事業部)  
7月6日生まれ A型

入社して 4ヶ月たちました。優しい先輩方に教えて頂いたり、手伝って頂きながら頑張っています!日々レベルアップをして、お客様のお役に立てる様になりたいと思っています!特に趣味がないので、休日は家族サービスやテレビを見ながら一週間の疲れを癒しています。

入社して 4ヶ月になり、仕事にも慣れて来ましたが、まだまだ若輩者で先輩方に追いつけるように日々努力する毎日です。失敗を恐れずこれからも頑張ります!  
趣味は、クライミングや水泳、他にはカラオケ等アウトドア、インドア問わず色々な事に挑戦する事が好きです。休日は、友達とカラオケやゲームセンター巡り、最近は彼女と一緒にコスプレをしたり、ショッピングしたりしています。



**篠原 健一** (集配事業部)  
1月29日生まれ A型

## ほっと一息...

(夢と希望に燃える男のブログ)



皆さんこんにちは。今回紹介させていただく本は、「要領がいいね!」と言われた人の仕事の習慣、著者は石谷慎吾さんです。  
この仕事を早く終わらせたいと思いつながら作業することがよくありますが、皆さんはいかがですか。「要領よく仕事をする」当たり前のことですが、この本にはちょっとしたヒントが書かれてあります。  
それは、常に目的を意識する。要領よく働くためには常に目的を意識し、そこから外れない。「目的から外れるようなことを起こさない」「あるいは「起こしても、すぐに気がついて本来のところに戻ることができる」ということです。こうすることにより、最短かつ確実に目的を達成することができるといいます。

要領よく働くには、常に目的を意識し、その時々に合わせて柔軟に対応していくことが重要なのです。要するに「目的達成のためには手段は選ばない」ということです。それから私が最も感銘を受けたところは「必要なことだけをやる」「ごく当たり前のことだし、誰も必要でないことはやらない」ということです。だから、「今、必要なことだけをやる」ということです。  
人は、「将来使うかも」や「こうなっていると便利かも」「きつと何かの役に立つ」という理由で「今、必要でないこと」をたくさん行っているのです。しかし、これらは未来に対する勝手な理想のもとに行っていることであり、本当に使われるかどうか分からないものです。要領よく働くためには「今、必要でないこと」は行わず、「今必要なことだけ」を行うのです。

最後に私が常に意識していることがあります。それを紹介させていただきます。それはこれです。  
「完璧」ではなく「最良」を目指す。  
(陽気なキリギリスのブログより)

貸切事業部 高橋 克典

## 今月のオススメ



県立博物館に近く、鹿沼街道沿いにあるピンクの外壁がとても可愛いシェレンバウム。とにかくパンの種類が豊富です。  
お薦めはエピソードドック(324円)大きなエビカツを挟んだホットドックでソースが絶品です。他にもツナマヨの入ったチクワパンや明太子ソースの入ったおにぎりパン、ティッシュの種類も多いので選ぶのに苦労します。  
是非土日のランチに利用してみてください!  
整備部主任 松木 みどり

お店の外にはイートインスペースも完備。パンと一緒にドリンクを注文してテラスでランチはいかが?



### シェレンバウム

住所: 栃木県宇都宮市鶴田町 591  
電話: 028-612-5888  
駐車場: 19台  
営業時間: 通常 7:00 ~ 19:00 頃  
(9/7までは9:00OPEN)  
定休日: 月曜日(祝日の時は火曜日)